

市民公開シンポジウムのご案内

日本食品科学工学会東北支部および日本栄養・食糧学会東北支部は、令和8年11月21日に市民公開シンポジウム『地方が元気になるために、食と栄養の研究ができること』を開催いたします。市民も対象であり、参加費無料ですので、ご興味のある方はご参加ください。

市民公開シンポジウム『地方が元気になるために、食と栄養の研究ができること』

日時: 令和8年11月21日(土) 15:30～18:00

場所: 弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール (青森県弘前市文京町1)

参加費: 無料 (申込み不要)

主催: 日本食品科学工学会東北支部、日本栄養・食糧学会東北支部

講演者: 宮下 和夫先生 (北海道文教大学 教授)

「農畜水産業から排出される低・未利用資源の有効活用」

桂木 能久先生 (弘前大学大学院 医学研究科 招へい教授, 花王株式会社)

「生活習慣を見直して、内臓脂肪を減らしませんか!」

小堀 真珠子先生 (国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究センター長)

「農産物の機能性表示と健康な食生活に向けた研究 ―地域の食を健康と活力につなぐ―」

内容: 少子高齢化・人口減少が進む昨今、特に地方でのそれは著しく、人々の生活、医療、産業や経済活動にその影響が見られ始めています。両学会も、食品科学と栄養の観点から、これらの問題に向き合うことが必要と考えます。そこで、本シンポジウムでは、食品や未利用資源の機能性、ヘルスケア、栄養と健康等の研究に長年取り組んでこられた3人の先生をお招きしました。各専門分野における研究成果、様々な活動等を分かりやすく、また問題解決の糸口となるようなお話しをしていただきます。地方が元気になるために、これからの食品科学・食産業や栄養・健康に関わる研究ができること・必要なことを皆さんと考えたいと思います。

ご注意: 構内に駐車場等は準備しておりませんので、公共交通機関をご利用ください。

15時15分頃まで学会を行なっており、一般の方は参加できません。受付でお待ちいただくことをご了解ください。

問い合わせ先

学会世話人・岩井邦久

弘前大学農学生命科学部

TEL&FAX: 0172-39-3791

Mail: iwai-kuni●hirosaki-u.ac.jp

(メールは●を@にしてください)